

財政見通しの見直しについて

令和 8 年 1 月

奥州市財務部財政課

I 計画期間

- (1) 中期財政計画 令和2年度から令和8年度まで（7年間）
- (2) 長期財政見通し 令和2年度から令和18年度まで（17年間）

2 計画目標

「財政健全化に向けた取組を強化するとともに、その成果を着実に反映させながら収支均衡を目指します。」

(1) 計画指針

- ①財政健全化重点項目を設定し、その効果額を反映することで財源不足額の圧縮を図ります。
- ②起債借入額については、起債償還額を下回ることとし、起債残高の減少を図ります。
- ③財政調整基金については、標準財政規模の10%程度の残高を堅持します。
- ④地域振興基金※を活用し、人口減少対策事業の確実な推進を図ります。
- ⑤減債基金とその他特定目的基金の積極的な活用を図ります。

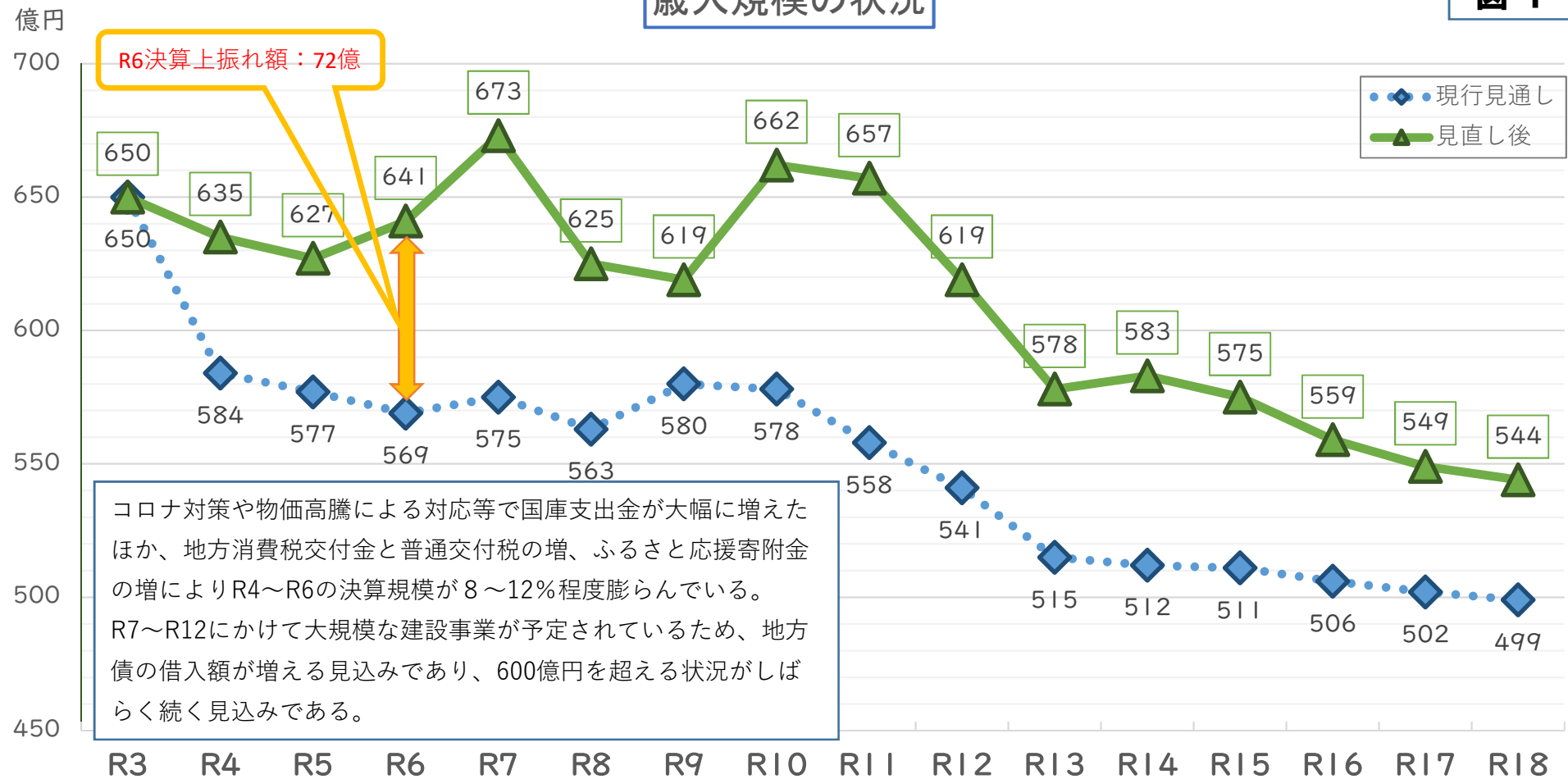
※ 地域振興基金
地域住民の連帯の強化、地域振興等に要する経費の財源のための基金。
原資は合併特例債を活用している。

(2) 数値目標 【目標年次：令和8年度】

- ①実質公債費比率については、18%未満を維持します。【R6：15.2%】
- ②将来負担比率については、令和3年度と同水準とします。【R6：28.1%】
- ③財政調整基金の残高については、約60億円を確保します。

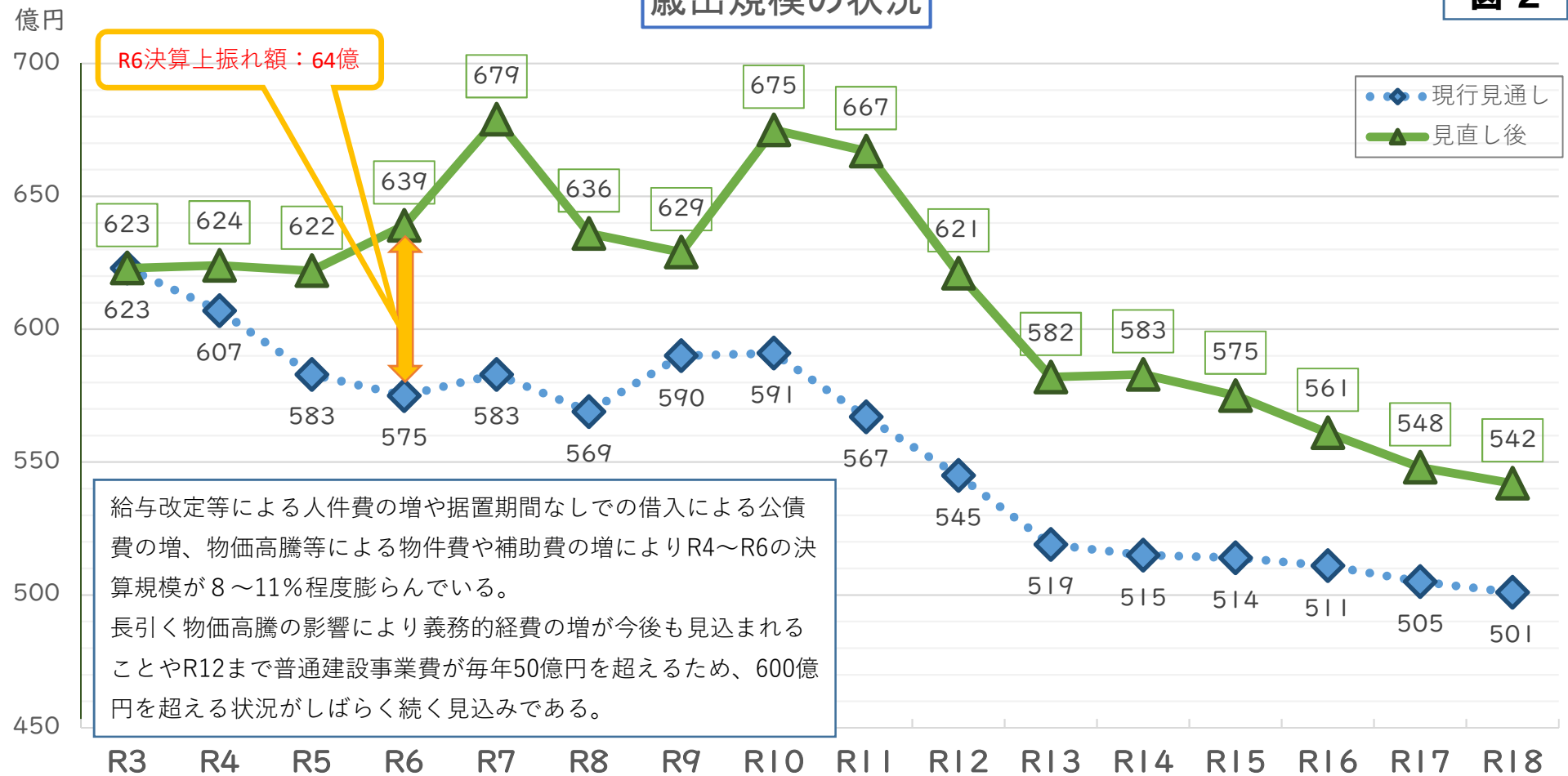
歳入規模の状況

図 1



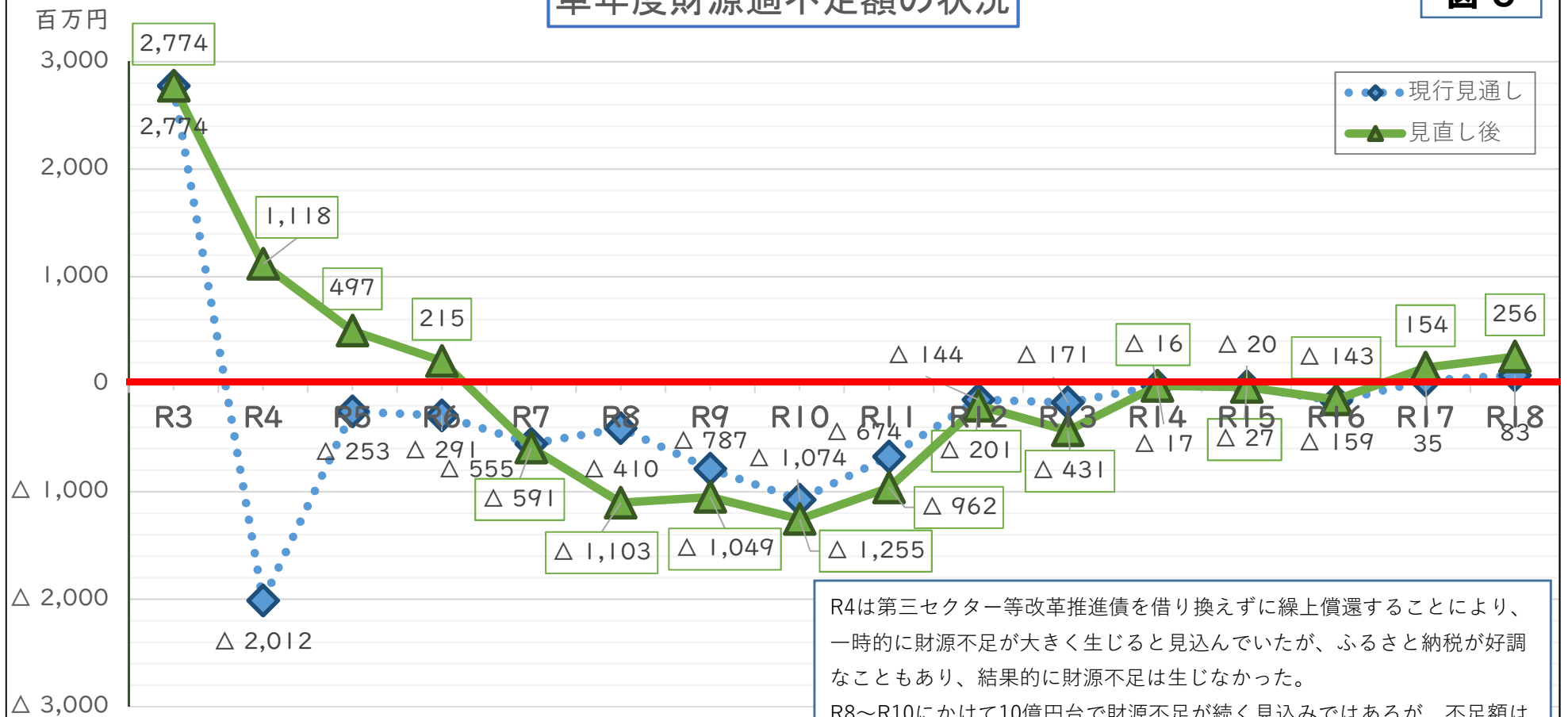
歳出規模の状況

図 2



単年度財源過不足額の状況

図 3



R4は第三セクター等改革推進債を借り換えずに繰上償還することにより、一時的に財源不足が大きく生じると見込んでいたが、ふるさと納税が好調なこともあり、結果的に財源不足は生じなかった。

R8～R10にかけて10億円台で財源不足が続く見込みではあるが、不足額は徐々に縮小していき、R17には収支均衡が図られる見込みである。

なお、見通し期間中の財源不足の合計額は、約8億円減の見込みである。

【現行見通し：約65.7億円→見直し後：約57.8億円】

財政調整基金残高の推移

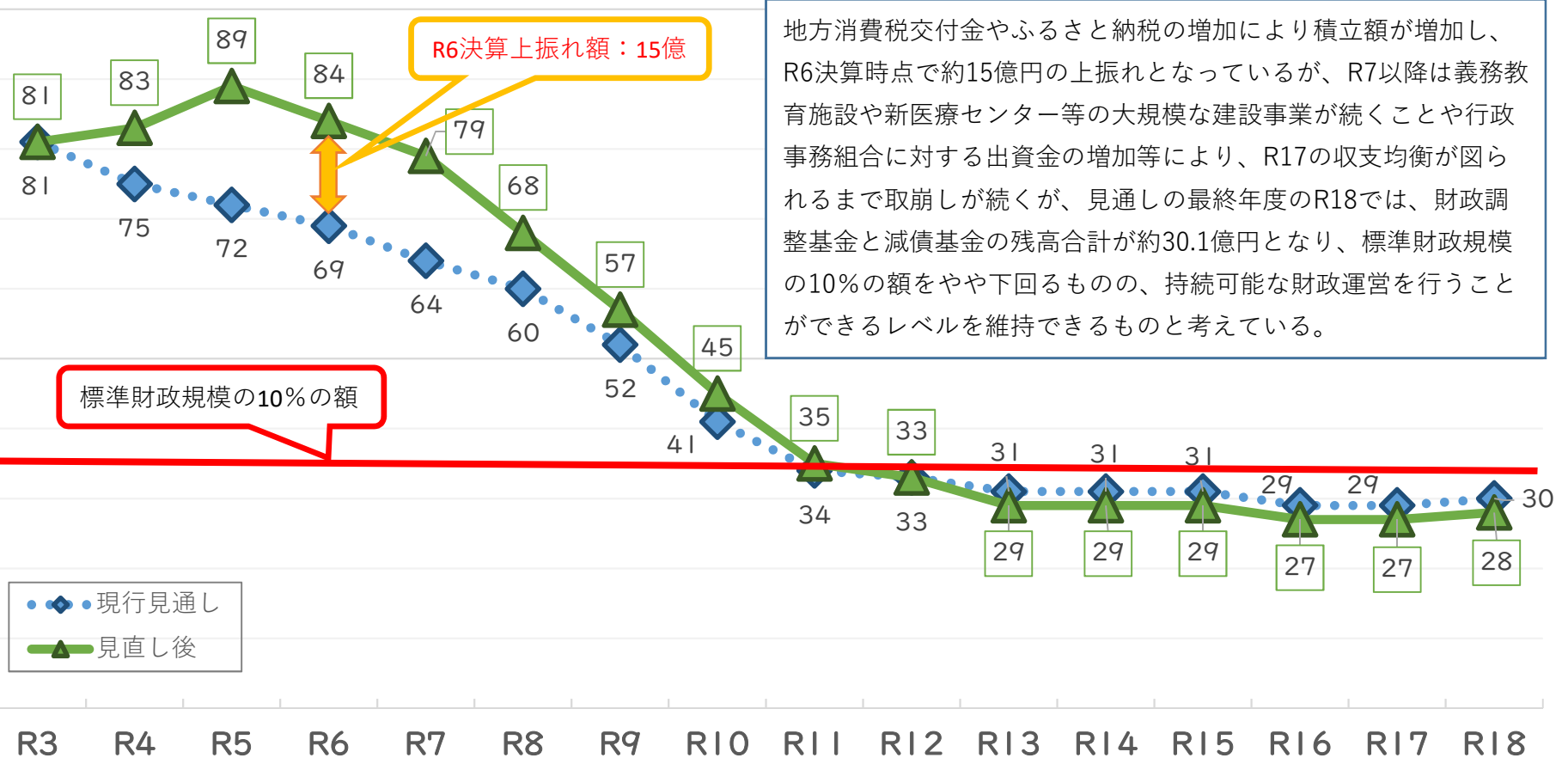
図 4

億円

100

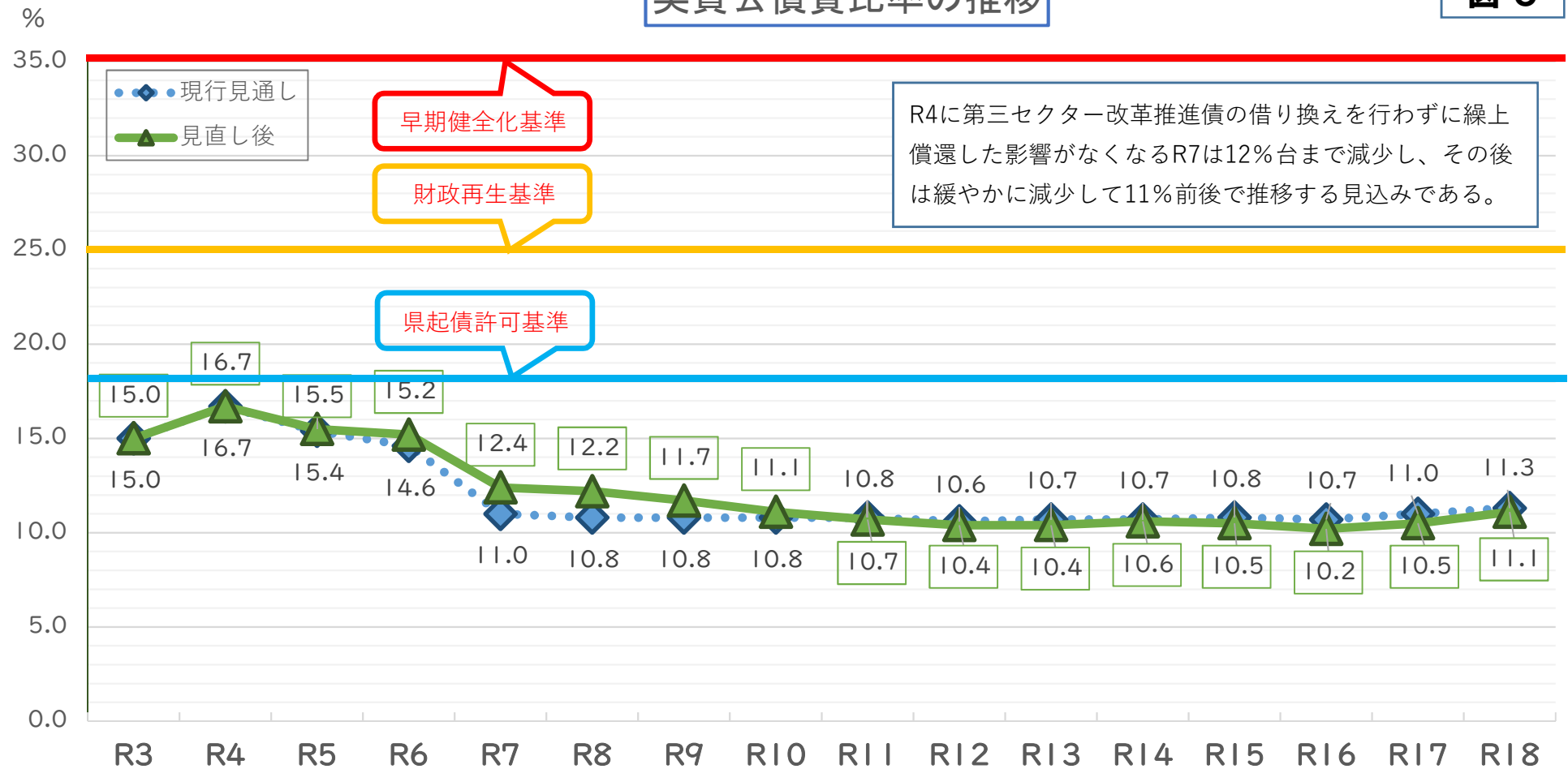
50

0



実質公債費比率の推移

図 5



将来負担比率の推移

図 6

